

令和3年度（第4回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議 議事録

日時：令和4年3月28日（月）12:30～13:10

場所：Web会議システム Zoom による開催

出席者：全国大学薬学部において生化学教育に携わる教員 87名（代理出席者3名含む）

委任による出席者：12名

配布資料

1. 会議次第
2. 出席予定者名簿
3. 1) 生化学分野における現コアカリの問題点と新コアカリでの対応について
2) 生化学分野におけるオンライン講義や実習について
4. 令和4年度 委員長校、副委員長校、参与校の選出について
薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議開催日程について
5. 1) 生化学分野教科担当教員会議会則
2) 生化学分野教科担当教員会議役員構成内規

会議内容

1. 開会の辞

青木委員長（北海道医療大学）より、開会の挨拶があった。

2. 議長の選出

会則に則り、青木委員長が議長に選出された。

3. 1) 生化学分野における現コアカリの問題点と新コアカリでの対応について

2) 生化学分野におけるオンライン講義や実習について

青木委員長より、両項目について事前アンケートに寄せられた意見が紹介された。

● 質問1 現行のコアカリで変更が必要なもの

種々の具体的な SBOs が指摘されたが、特に RNA に関するものや細胞と分裂に関するものが多かった。

● 質問2 現行のコアカリに不足しているもの

ゲノム編集、RNA ワクチンを指摘する意見が多く、その他、解析技術や代謝関連についても不足しているとの意見があった。

● 質問3 生化学分野と他分野との連携について

基礎科目である生化学分野が他の分野とどのように連携したら良いかについて多くの意見が紹介された。また、「薬剤師のプロフェッショナリズム」をどのように養うかについて参加者より補足説明があった。

● 質問4 現行コアカリの問題点、改定コアカリへの要望

改定コアカリでは自由度の向上や整理されたシンプルな SBOs を望む意見が多かった。

● 質問5 オンライン講義で実践された工夫などについて

ライブ配信と録画のオンデマンド配信を基本としたオンライン講義の進め方が多く紹介され、さらに双方向性を向上させるための種々の工夫や意見も紹介された。また、顔を出して講義を受けることについて参加者より補足説明があった。

● 質問6 オンライン実習で実践された工夫などについて

オンラインによる実習講義と解説、操作動画の視聴、少人数による対面実習またはデータの提供による擬似実習などの具体的な方法や工夫が紹介された。

4. 令和4年度委員長校、副委員長校、参与校の選出について

紺谷副委員長（明治薬科大学）より、令和4年度の参与校・参与として、星薬科大学・東伸昭教授が推薦され了承された。よって令和4年度は、委員長校・明治薬科大学（紺谷圏二教授）、副委員長校・名古屋市立大学（服部光治教授）、参与校・星薬科大学（東伸昭教授）に決定した。（資料4）

5. 令和4年度（第5回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議の開催について

令和4年度委員長の紺谷副委員長より、令和4年度（第5回）薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議を日本薬学会年会（第143年会、北海道大学札幌キャンパス 他）期間中に、年会会場またはWeb会議システムにて開催することが提案され了承された。（資料4）

6. その他、閉会の辞

その他として、問題提起、意見、質問等を募ったが、とくに出席者からの発言はなく、青木委員長より閉会が宣言された。

以上、議事の経過及び結果を明確にするため、本議事録を作成する。

（記録者：参与 名古屋市立大学 服部 光治）

（事務局：北海道医療大学薬学部分子生命科学講座）

令和4年3月28日

議長（委員長）北海道医療大学 青木 隆